

# パンフレット (両親指導の手引き書) のすすめ



## 発音（構音）障害に関する指導書

- ④「ことばの指導の前に」
- ⑤「ただし発音を育てるために」
- ⑥「ママとあそぼう」
- ⑨「育児とことば」 他

紹介者・群馬県渋川市立北小学校

「ことばの教室」担当 佐藤雅次

全国の難聴・言語障害学級や通級指導教室に通う児童・生徒の最も多くを占めているのは、発音の心配によるものです。（\*1）実際に、私が教室で担当している20名の幼児・児童の内訳をみても、発音に何らかの誤りがあると思われるお子さんが12名程おります。

ことばの教室では、一週間に一回・一時間程度の指導を行っています。しかし、お子さんの日常のことばと接する機会が多いのは、保護者のみなさんです。そこで私達は、短い時間で指導の効果を上げるようにすると共に、発音への意識を向上していただくために、家庭で楽しみながらできることばの勉強を紹介することがあります。この時大変役に立つのが、親の会のパンフレットです。

通級を始めたばかりの保護者の方にお勧めするのが、『④ことばの指導のまえに』です。この頃は、『ことば』というと、『話しことば』そのものに注意を傾けてしまいがちになることがあります。また、中には発音だけをなおそうとして言い直しを何度もさせたり、繰り返して注意をするようなことがあったりします。ところが、そのようなことは逆効果になる場合があります。そのようなお話をすると共に、きく耳を育てることや、機能面を向上させることが必要であるということをこのパンフレットを見て頂き「ご家庭でもこういっ

たのはできますね」などとお話しながら説明することもあります。また、このパンフレットは、写真を多く取り入れてあるため、見ただけでどのようにするのが分かり、「家でもやってみました」といった反響をたくさん頂いたものの一つでもあります。

そして、幼児期のお子さんと一緒に楽しみながらできる教材として紹介したいのが、『⑥ママとあそぼう』や『⑩手作りで遊ぼう』です。これらのパンフレットには、印刷するだけで使える絵カード教材等があり、すぐにご活用いただけると思います。また、学習したことばを更に発展させたいという場合には『31ことばあそびをしよう』がお勧めです。実際に私達も、この中のことば集めやしりと、クロスワードパズル等を使っており、子供達に人気のあるメニューです。

これらのように、実際に見てすぐに使えるものの他、私は特に幼児までのお子さんを持つ保護者の方々に（自分も含めて…）、分厚い育児書や、情報量の非常に多い育児雑誌を読むよりも、まずこの薄くてすぐに読めそう（？）な、しかし内容は濃い、親の会パンフレットを次の内の一冊でも読まれることもお勧めしています。⑨⑫⑭⑰⑱⑲です。

最後に、中川信子先生の本の中に、『「ことば」には、相手にあることを伝えたいと思う気持ち（コミュニケーション意欲）が含まれています。とても言いにくそうに話していても、耳をすまし、心をすまし、わかろうとする気持ちで、しっかり聞くように心がけましょう。』ということばがあります。私達も常に子どもと理解し合える存在になりたいと思って、これからも毎日の暮らしを見つめながら日々向き合っていきたいと思えます。

\*1 独立行政法人国立特殊教育総合研究所聴覚・言語障害教育研究部『国内調査研究報告書 全国難聴・言語障害及び通級指導教室実態調査』平成15年2月によると、学級・教室等に通う児童・生徒の障害別構成比で構音障害は43.3%を占める。